

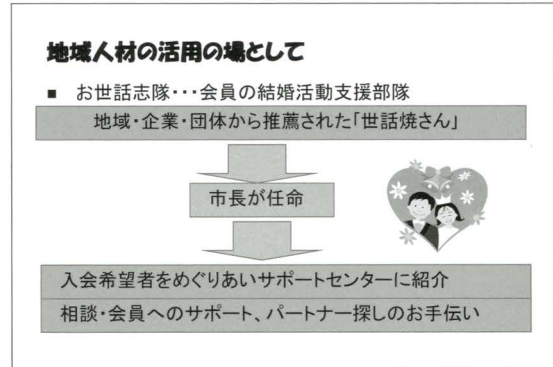
実践記録 シリーズ 155

「ときめきめぐりあい推進事業(婚活支援)」を公民館で取り組む

小千谷市公民館 副参事 和田 顕雄

■人と人をつなぐ事業を展開したい

地域の結びつきが希薄になっている現在、公民館の本来の役割である地域コミュニティづくりの取り組みは重要性を増しています。地域の取り組みとして注目されるのが課題解決型の高齢者支援や環境保全などがありますが、「少子化・晩婚化」は全国的にも大きな社会問題となっています。公民館では「少子化・晩婚化」に歯止めをかけることを目的として、地域の人材を活用した取り組みを進めています。

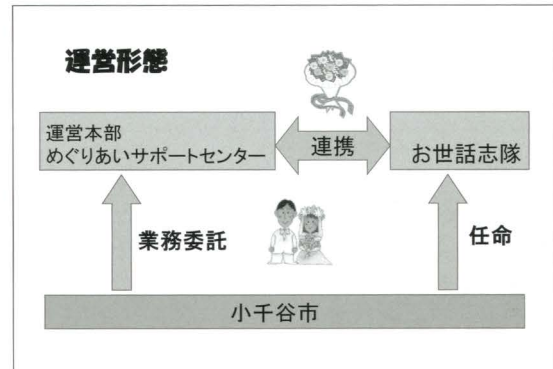
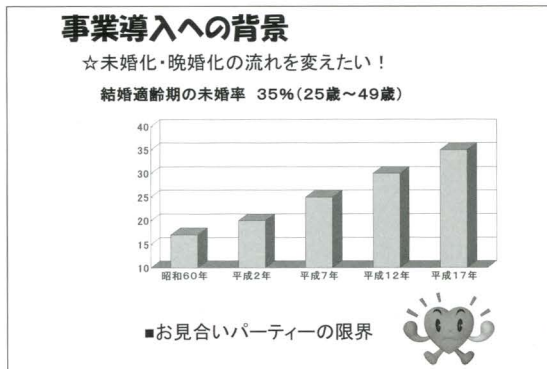


■事業導入の背景～未婚晩婚化の流れを変えたい

平成17年国勢調査では結婚適齢期年齢を25歳から49歳と規定した場合、適齢期の未婚率が小千谷市では35%となっており、急速に未婚化・晩婚化が進展しています。

■「事業成果及び現状」

平成21年9月から開始した取り組みの1月現在の活動状況については会員数：99名、お見合い回数：31回、交際進行中：10組前後、結婚成立数：4組となっています。



これまで多くの地域で実施していた「お見合いパーティー」には限界があります。これは、小さなコミュニティでは参加している自分を他の人に知られたくない思いが強く、特に女性の参加が期待できません。また、魅力的なパーティーを企画した場合でも、その企画を楽しんで終わりということが多くあります。

■さいごに…

これまで、行政が唯一の「公」であり、住民は公共サービスを受けるという構図が一般的でした。しかし、現在は、行政だけではなく、企業やNPO、市民などが協力して「新しい公共」を担うという考え方が広がっています。公民館はそうした取り組みを進めるにはぴったりの場です。

■地域・企業・団体から推薦された『世話焼きさん』のお世話志隊を結成

このため、男女の出会いの『世話焼きさん』として市長がお世話志隊を任命、隊員の皆さんは結婚を希望する男女をめぐりあいサポートセンターに紹介したり、会員からの相談やパートナー探しのお手伝いなどの活動をボランティアで行っています。地域でいろいろな情報を持つ『世話焼きさん』が活躍する場を提供することもこの事業の目的のひとつです。

この事業は未婚化・晩婚化に歯止めをかけることが主眼ですが「活気ある地域づくり」も大きな目的として位置づけています。お世話志隊の皆さんが地域の人たちとつながり、コミュニティの活性化が図れるとともに、市内各地で活躍する隊員のネットワークが構築されることも期待されます。

平均寿命が延び、会社勤めや子育てが終わった後も長い時間が残る時代です。地域で人と人がつながる場として「新しい公共」を担う人材による公民館の事業を考えていくことが重要です。